

在北外学汉语

第五届福井县高中生汉语短训班

第 8 期

2017.3.21

星 期 二

前門・天安門



した。天安門広場は、面積40万 km^2 で、世界で最も広い広場の一つである。そこに敷き詰められているタイル数は42万枚あり、1枚のタイルに2人ずつ立てるので、84万人を収容することができる。天安門へは厳重なチェックが行われていたが、団体ということで、チェックを受けずに入ることができた。広場北側の国旗掲揚台の前で微動だにしない人民解放軍の衛兵がいたが、生徒たちは天安門中央の“毛澤東 Máo Zédōng”の肖像画とそっくりの趙先生と一緒にカメラに収めていた。

帰国を間近に控え、買い物をする時間が少ないようなので、景山公園から全景を見て、故宮、天安門、前門へ抜けようという計画を立てた。しかし、ガイドさんの話によると、現在の故宮は後宮から入場することはできず、正面の午門から入場する一方通行であることが分かった。そこで、最初に前門通りで買い物をし、天安門広場→故宮→景山公園の流れで見学を



故宮



故宮は500年間24人の皇帝が君臨し続けた、敷地面積72万 m^2 という世界最大規模の宮殿である。門の壁の「故宮博物院」の巨大な額は、作家郭沫若が書いた字である。入り口から出口まで全て見て回るには相当の時間と体力が必要である。午門から太和殿（紫禁城の中心となる正殿で中華社会の中心とされた。）→中和殿（太和殿での公式行事に赴く前に皇帝が休憩をとる場所。）保和殿（科挙の最終試験「殿試」が行われた場所。）→乾清宮（よう正帝以後の皇位継承が円滑に進むように次期皇帝の名前を納めて封をした箱をこの「正大光明」の額下に収めておく制度を定めた。）→坤寧宮（清代では皇帝の婚礼の行われ

た場所)へと順番に見て回った。そして“景山公園 Jǐngshāngōngyuán”の山頂まで最後の力を振り絞って登った。曇ってはいたが、広大な全景を見ることができた。

北京ダック



北京でやらなければならない二つ目は“北京烤鸭

Běijīngkǎoyā”を食べることである。私たちが行った店は北京ダックの老舗“全聚德 Quánjùdé”である。北京ダックをさばくパフォーマンスがあり、生徒たちは大喜びであった。北京ダックは、その皮の香ばしさが魅力であるが、皮を甘味噌につけ、ネギと共にライスペーパーに巻いて食べる。中国料理に少し飽きていた生徒たちも、本場の北京ダックを堪能し、満足そうであった。私たちのテーブルを担当してくれたお姉さんは採用後今日が初仕事で、初担当が私たちとなった。記念写真を撮った。趙先生が彼女の wechat に写真を送ってあげていた。

〈生徒の日記より・3月21日〉

・今天我去了故宫。很大，走了很多。还去了景山公园。从山顶看到的景色很美!! 晚饭我们吃了北京烤鸭。第二次吃，可是还觉得最好吃!! (島田)

・今天下午我们去了天安门广场、故宫、景山公园。天安门广场有很多人，很漂亮!! 毛泽东很可爱。故宫有很多人，也和漂亮。我不喜欢历史，所以没有意思。去景山公园很累，可是风景很好看。离回日本还有两天。(藤木)

・今天我去了天安门。很大很大。第一次看毛泽东。第一次吃北京烤鸭。很好吃!! 想再一次吃北京烤鸭!!! (三田村)

・今天我去了前门和天安门全聚德。前门有可爱的水筒。我给弟弟买了一个水筒。景山公园的山顶上看到的景色很漂亮。在全聚德吃的北京烤鸭很好吃。初次吃，我很感动。在那儿工作的女孩儿很可爱。明年我还想去吃北京烤鸭。(鈴木)